

第2回リトルラムサール会議参加報告

生物班 安原咲希

1. はじめに

2010年10月20日～22日に、韓国のチョンジュ市(全州市)で開催された、第2回リトルラムサール会議に参加しました。リトルラムサール会議とは、アジアの中学生・高校生が集まり、川や湿地などの水辺の環境問題について学ぶイベントです。2008年に第1回が開催され、その際も高津高校の先輩が参加されました。その縁もあり、今回招待を受けて私も参加することになりました。

今回は日本・韓国・中国・香港・モンゴル・タイ・マレーシアからの参加がありました。日本からは生徒4名・教員5名の計9名が参加しました。



2. 活動内容

(1) 1日目

① プレゼンテーション発表

初日は、各国で行っている環境保全活動等について、参加者によるプレゼンテーション発表が行われました。発表者はほとんど中高生で、英語での発表が、韓国語にも通訳されるという形でした。

発表テーマは、中国におけるマングローブの保護、マレーシアの環境教育、韓国・チョンジュ川のモニタリング調査など、さまざまでした。私自身は発表しませんが、日本からも発表が2件あり、いずれも部活動で行っている身近な場所の環境調査の結果報告でした。

およそ7時間に及ぶ発表会となり、すべて聞くだけでも大変なものでしたが、先進国かどうかに関係なくどの国でも真剣に環境問題に対して取り組んでいるということが印象的でした。



発表の様子

② 夕食会

夕食会では、さまざまな国の人とふれ合いながら、夕食を楽しむことができました。夕食後には一人一人が自己紹介をしました。歌を披露してくださった方もいて、大変楽しく、盛り上がった夕食会となりました。

(2) 2日目

① 自然生態博物館の見学

午前中は、全州市内にある自然生態博物館を見学した。生態系や環境問題についてのパネルを始め、魚や昆虫等の生き物も展示されており、触って体感できるようなものもあった。このように、子供たちをはじめ、誰もが楽しく学べる工夫がなされていた。



展示物（左）と 見学の様子（右）

② 川・湿地の見学

博物館の見学の後、全州市内の川などを見学して回りました。環境が保全されているところ、また保全に力を入れているところが多かったです。

1) チョンジュ川（全州川）

まず、博物館のすぐ近くを流れるチョンジュ川を見学しました。周りには緑が多く、景色のいいところで、水も透き通っていてきれいでした。この川は美しい川として見本となっており、多くの環境保護団体がこの川に学びに訪れるそうです。

2) ビオトープ

次に、住民の募金によって整備されているというビオトープを見学しました。この場所で珍しいカエルが発見され、ある大学が整備することになったということです。カエルなどの動物がいるのは確認できませんでしたが、多様な植物が生育していました。



チョンジュ川（左）とビオトープ（右）

3) 人口河川

ここは、見学した他の場所と異なり、人工的に作られている川でした。かつて水質が悪く、悪臭を放っていたため埋められたそうなのですが、全州川のような美しい川を目指し、再び川づくりが進められています。まだ工事中のため、工事が完成したところとの間が仕切られていました。そのためまだ水が流れておらず溜まったままで、臭いもありました。今の段階ではきれいだとはいえませんでした。

4) ウォルソン貯水池

ここは現在、観光地としてのみ利用されている湿地です。以前はこの水を農業用に使用していましたが、水質保全のため現在は使っていません。また、水質保全のため、湖底に植物を植える等の取り組みをしているそうです。

5) マンギョン川 (萬頃川)

最後に見学したマンギョン川は、かなり幅が広く、流れが遅い川でした。この川を中心として、15か所にビオトープがあると、案内して下さった方がおっしゃっていました。チョンジュ川に比べてかなり大きく、深く見えました。この川も、周りに緑が多かったです。



人工河川 (左上)
ウォルソン貯水池 (右上)
マンギョン川 (右下)

③全州韓屋村



2日目の活動のあと夕食までの間、韓国の伝統家屋「韓屋」(ハンオク)が集まる全州韓屋村を、現地の高校生たちが案内してくれました。立派な神社を見たり、お土産を買ったりと、韓国の伝統の重みを感じながら、楽しい時間を過ごすことができました。さらに、宿泊も韓屋でさせてもらいました。

(写真：韓屋)

(3) 3日目

①ディスカッション

参加者全員で、今回の活動から学んだこと、川や湿地の環境についてディスカッションをしました。まず、「宣言文」が配布され、それをもとに国ごとに話し合って意見をまとめ、代表者が前で意見を発表する、という流れで行われました。

日本の参加者で話し合った結果、環境保全には韓国・チョンジュだけでなく世界中どこでも取り組むべきであり、今回のようなことを学ぶだけでなくより多くの人に伝えてこそ意味がある、といった意見にまとまりました。ほかの国から出た意見も同様のものが多かったです。

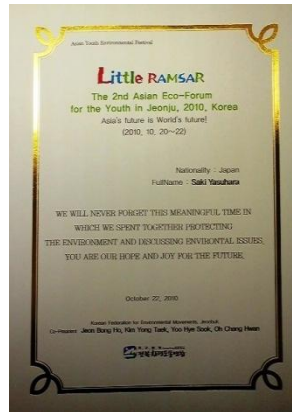
②閉会式

閉会式で、初日のプレゼンテーションが表彰されました。表彰されたのは日本、中国、マレーシアの発表でした。

最後に全員が参加を記念する賞状を受け取りました。



表彰された参加者



賞状

3. 成果・感想

今回この活動に参加して、普段経験できない貴重な経験をたくさんすることができました。環境問題に対して、さまざまな国で自分と同年代の人たちが、それぞれの方法で取り組みを行っていることは新しい学びでした。私もこれからより一層環境問題への意識を強め、自分にできることから取り組んでいきたいと思いました。環境を守るための活動だけでなく、その取り組みを広めていくことの重要性も改めて感じました。

また、自分たちの活動や取り組みを英語で堂々と発表できる学生たちにも憧れを感じました。私は会話をするにも思いの外うまく英語にできなかったり、詰まってしまったりすることが何度もあり、もどかしい思いをしました。今後実践的に使える英語を上達させることも、今回の活動で得た目標の一つです。

今回得た様々な経験を、今後の活動に活かしていけるよう頑張りたいと思います。